

時代を越える橋：  
ずっと変わらない橋の風景 大切に補修し使い続けたい



2017年8月（長野県上伊那郡・坂戸橋）

**村民の思いが詰まったアーチ橋**

昭和8年に完成した橋長77.8mの鉄筋コンクリートアーチ橋は、当時日本最大を誇りました。戦時中は親柱照明柱が金属供出で失われましたが、平成3年に地元の熱意で50年ぶりに復元されました。

**美しくデザインされた橋**

渓谷に架かる橋としてはコンクリートアーチ橋が自然の背景によく似合います。橋の側面には余計な飾りが一切なく、高欄は支柱の区切りがまったくないため、細かい縦線が連続しているのが特徴です。

岡村幸二（JRRN会員）